

身のまわりの税

八雲町立八雲中学校 二年 影浦 琉南

私は、中学校で生活するようになって最近ありがたいと思うことが二つあります。一つ目は、教室にエアコンがついていることです。私の通っていた小学校では、教室にエアコンが付いておらず、夏の暑い日や体育の授業終わりなどは、下敷きで扇がないと汗がダラダラ出てきて、授業をあまり快適に受けることができませんでした。だから、中学生になって夏でも涼しい教室があるということにとっても喜びました。体育の授業が終わった後でも身体は涼しくいられ、季節関係なく授業を快適に受けることができるから、私はエアコンがあることに助けられています。

次に二つ目は、トイレが綺麗なことです。トイレには清潔さと快適さが求められているそうです。そして、私の学校のトイレには、それらがしっかりと備わっています。例えば、壁が真っ白で照明がとても明るいです。さらに、トイレ用擬音装置がついてプライバシーを守ってくれています。しつかりした環境のお陰で、私は毎日安心して使うことができます。

私の中学校は、三年くらい前に改修が行われました。その事によって、さつき話していたエアコンやトイレが新しくなったのです。ですが、学校の改修にはお金がかかります。私は、そのお金はどこから来るのか調べてみました。そうしたら、「税金」が使われているそうです。税金とは、年金・医療などの社会保障、福祉や、水道、道路などの社会資本整備、教育、警察、防衛といった公的サービスを運営するための費用を賄うものだそうです。続けて、人びとが商品を買ったときやサービスの提供を受けたときに支払う消費税、会社で給料をもらっている人や、商売をして利益を得ている人が支払う所得税、住民がそれぞれの住んでいる都道府県や市町村に納める住民税など様々な種類に分かれており、合計でおよそ五十種類あるそうです。更に調べてみると、ネットでは税金に対して一部で批判の声が上がっているそうです。特ににつき挙げた消費税、所得税、住民税は理不尽だとか迷惑だと言われています。しかし、私はそれらが大切だと思います。なぜなら、税金があるおかげで最初に話していたエアコンやトイレが新しくなり、学校生活をなにより自由なく過ごせられているからです。その他にも税金が使われているところは、学校の新しい教科書だったり、町の道路の整備だったりたくさんあり、その事によって人びとに豊かで安心な暮らしを与えています。最後に、私は税金が誰かの役に立つために使われており、これからも色んなところで使って人びとを安心させられるようにしてくれたいと思います。